

海外では普通なのに日本ではダメなこと

動画リンク: <https://youtu.be/TJV7V1UkRxg>

今回は"海外では普通なのに日本ではダメなこと"を学びながら、日本語を勉強しましょう。
この動画は、前半は少しゆっくりのスピードで、漢字には"ふりがな"があります。
後半は少しだけ速く(+ 20%)なり、漢字に"ふりがな"はありません。
学習にお役立てください。

■食事中におもいきり鼻をかむ マナー違反レベル:★★☆☆☆

海外では、食事中に鼻をかむことが普通の国が多いです。逆に、鼻をすすることのほうが汚い印象を与えてしまいます。

もちろん日本でも食事中に鼻をすする行為はマナー違反とされていますが、それと同じくらい食事中に鼻をかむことはいやがられることが多いです。

日本では、食事の場を大切にする文化があります。食事中は、食べ物の味や香りを楽しむだけでなく、いっしょに食事をする人との会話やふんいきも大切にされます。そのため、鼻をかむような音が大きい行為は、食事の場を乱すものと考えられています。

もし食事中に鼻が気になる場合は、席を外してトイレなどで鼻をかむのがマナーです。また、鼻をかんだあとには手を洗うことも忘れないようにしましょう。特に公共の場やレストランでは、周りの人たちへはいりよすることを大事にしましょう。

日本では、ティッシュやハンカチを持ち歩くしゅうかんがあります。これらを使ってしずかに鼻をふくことも1つの方法です。しかし、大きな音を立てて鼻をかむことはやめたほうがいいです。もし風邪などでひんぱんに鼻をかまなければならない場合は、マスクをするなどのたいさくも考えられます。

■公共の場で足を組む マナー違反レベル:★★☆☆☆

海外では、公共の場で足を組むことが普通に行われる場合もありますが、日本ではこれがマナー違反と見なされることがあります。特に公共の場やビジネスの場では、足を組むことは無作法とされることが多いです。

日本では、足を組むことが相手に対してぶれい(れいぎがない)と受け取られることがあります。これは、リラックスしすぎたたいどや相手に対するけいいを欠いていると見なされるためです。特に、目上の人やビジネスパートナーとの会話中に足を組むことはやめたほうがいいです。また、公共交通機関や待合室などの公共の場でも、周りの人たちに対してはいりよを示すために、足を組まないようにすることが求められます。

正しいしせいで座るためには、次の点に注意しましょう。まず、せすじを伸ばしてまっすぐに座りません。足はかたはばに開いて、両足を地面につけるようにしましょう。手はひざの上に軽くおくか、自然に下ろします。このしせいを保つことで、相手に対するけいいを示すことができます。

公共の場で足を組むことは、他の人々にふかいかんを与えることがあります。特に、せまいスペースでは足を組むことで周りの人たちにめいわくをかけることがあります。また、女性の場合には、足を組むことでスカートが乱れたりすることもあるため、ちゅういがひつようです。

日本では、しせいやたいどが他の人々に与えるいんしょうを大切にす文化があります。足を組まずにきちんと座ることで、相手に対するけいいを示し、良い関係をきづくことができます。

■名刺を片手で渡す マナー違反レベル:★★★☆☆

海外では、名刺を片手で渡すことが普通かもしれませんが、日本ではこれはマナー違反とされています。名刺こうかんはビジネスの場でとてもじゅうようなきしきとされており、正しい方法で行うことが求められます。

日本では、名刺をこうかんするときには、両手で名刺を持って相手にわたすのがきほんてきなマナーです。名刺を両手でわたすことで、相手に対するけいいを示すことができます。片手でわたすと、自分へのけいいを欠いたと感じる人もいるため、ビジネスシーンでは特にちゅういがひつようです。

名刺をわたすときには、次のてじゅんにしたかうと良いでしょう。まず、名刺入れから名刺を取り出し、両手で名刺を持ちます。名刺の文字が相手に読める向きになるようにして、かるくおじぎをしながらわたします。このとき、「よろしく願います」や「お名刺、ちようだいいたします」といったあいさつの言葉をそえると、よいていねいです。

名刺を受け取る時も同じように、両手で受け取ります。受け取った名刺は、すぐにしまわずに一度かくにんして、相手の名前や会社名をおぼえるようにしましょう。これも相手に対するけいいを示すことにつながります。また、名刺を受け取ったあとは、すぐに机やポケットにしまわず、名刺入れにていねいにしまうか、会話が續く場合はテーブルの上においておくのが良いです。

名刺こうかんは、初対面のビジネス相手とのじゅうようなコミュニケーションです。正しいマナーを守ることで、相手に良いいんしょうを与え、ビジネスかんけいをえんかつに進めることができます。文化やしゅうかんのちがいをりかいして、日本のビジネスマナーにしたかうことで、成功するビジネスコミュニケーションをきづくことができます。

■話すときに手をポケットに入れる マナー違反レベル:★★★☆☆

海外では、話すときに手をポケットに入れることがそれほどもんだいしされない場合もありますが、日本ではこれはぶれいとされることが多いです。特にビジネスシーンや目上の人と話すときには、手をポケットに入れずにきちんとしたしせいで話すことが求められます。

日本では、話すときのしせいやたいどがじゅうようしされます。手をポケットに入れたまま話すことは、相手に対してそんけいの念を欠いていると受け取られることがあります。これは、リラックスしすぎたたいどや、ふまじめないんしょうを与えるためです。特に上司や年上の人、ビジネスパートナーと話するときには、手をポケットから出して、きちんと相手に向かって話すことがじゅうようです。

正しいしせいで話すためには、次の点に注意しましょう。まず、手は自然に体の横に下ろすか、前でかるく組むと良いです。また、話す相手の目を見て、しっかりとした口調で話すことが大切です。これにより、相手に対するけいいを示すことができます。

もし、手が落ち着かない場合は、手にしりょうやペンを持つなどして、手をポケットに入れまいようにいしきしましょう。また、さむいきせつでも話すときには手袋を外して、手をポケットから出して話すよう心がけると良いです。

このように、話すときのたいどやしせいは、相手に与えるいんしょうを大きく左右します。日本では、相手に対するけいいを示すために、手をポケットに入れまいことがじゅうようなマナーとされています。文化やしゅうかんのちがいをりかいして、正しいたいどで話すことで、より良いコミュニケーションを築くことができます。

■公共の場での手をつなぐ以上のスキンシップ マナー違反レベル:★★★☆☆

海外では、公共の場でのスキンシップ、たとえば、キスやハグなどが普通に行われることが多いですが、日本ではこれがマナー違反と見なされることがあります。特に手をつなぐ以上のスキンシップは、公共の場ではひかえるのがいっばんてきです。

日本では、公共の場でのかどなスキンシップは、周りの人たちにふかいかんを与えるかのうせいがあるため、つつしむことが求められます。手をつなぐことは受け入れられていますが、キスやハグ、その他のしんみつなこういはひかえるべきです。これらのこういはプライベートな空間で行うものとされ、公共の場ではせつどを持ったこうどうが求められます。

たとえば、えきのホームやこうえん、ショッピングモールなどの人が多く集まる場所では、手をつなぐていとどめておくのが良いでしょう。これにより、周りの人たちに対するはいりよを示し、ふかいな思いをさせないようにすることができます。また、日本では、特に年配の方は、公共の場でのスキンシップに対してきびしい目が向けられることがあります。

日本でのデートや外出のときには、このようなマナーを守る事が大切です。レストランやカフェなどのプライベートな空間でも、かどなスキンシップはしないようにして、周りのふんいきに合わせたこうどうを心がけると良いでしょう。

■せきをするとき口元を手でかくさない マナー違反レベル:★★★★☆

海外では、せきをするとき口元を手でかくさないことがきよようされることもあります。日本ではこれはマナー違反とされています。特に公共の場や室内では、せきをするとき口元を手やハンカチでかくすことがじゅうようとされています。

日本では、せきやくしゃみをするときに口元を手でかくしないと、周りの人たちに対してふえいせいでふかかないいんしょうを与えることがあります。これは、ひまつがとびちり、ウイルスやさいきんが広がるかのうせいがあるためです。特にかぜやインフルエンザのきせつには、このマナーを守ることがさらにじゅうようになります。

せきをするときには、次の点にちゅういしましょう。まず、せきが出そうな場合は、あらかじめハンカチやティッシュを手元にじゅんびしておきます。せきをするときには、手やハンカチで口元をしっかりとおい、ひまつがとびちらないようにします。ハンカチやティッシュがない場合は、そでやひじの内側で口元をかくすようにしましょう。これにより、手を使わずにせきをおさえることができます。

また、せきをしたあとは、手を洗うことも忘れずに行いましょう。公共の場では、アルコールしょうどくえきを使って手をしょうどくすることも有効です。これにより、他の人たちに対するはいりよを示し、えいせいてきなかんきょうを保つことができます。

■電車やバスで電話 マナー違反レベル:★★★★☆

海外では、電車やバスなどのこうきょうこうつうきかんで電話をかけたり、受けたりすることは普通かもしれません。しかし、日本ではこれがマナー違反とされています。日本の電車やバスの中では、電話は使わないようにするのがマナーです。

日本のこうきょうこうつうきかんは、多くの人利用します。そこで電話をかけると、周りの人たちにめいわくをかけることがあります。特につうきん・つうがくの時間帯は、車内がとてもこんざつするため、しずかにすごすようにしなければいけません。電話の音や話し声が周りの人たちにとってそうおんとなり、ふかいな思いをさせてしまうかのうせいがあります。

もしどうしても電話をかけるひつようがある場合は、次のえきでおりてからかけるのがマナーです。また、きんきゅうの場合は、車内のはしやドアの近くで小さい声で話すように心がけましょう。しかし、できるだけ電話はしないようにして、メッセージアプリなどでやり取りをするのがいいです。

さらに、日本の電車やバスには「優先席」という席があります。ここでは特にスマートフォンのでんげんを切るか、マナーモードにするようにしてください。これは、優先席を利用する人は何らかのいりようききを使っている場合があるからです。ペースメーカーなどのいりようききにえいきょうを与えないためにも電話は使用しないようにしましょう。

■お風呂に入る前に体を洗わない マナー違反レベル:★★★★☆

海外では、お風呂に入るとき、体を洗う前にそのまま入ることが普通かもしれませんが、日本ではこれがマナー違反とされています。日本の入浴文化には、ルールとマナーがあり、お風呂に入る前に体を洗うことがじゅうようとしてされています。

日本の多くの家庭やおんせん、せんとうでは、まずシャワーや洗い場で体をしっかり洗ってからゆぶねに入ります。これは、ゆぶねの水をせいけつに保つためのじゅうようなマナーです。ゆぶねの水は他の人といっしょに使うため、体の汚れや汗を落としてから入ることで、次に使う人に対してのはいりよを示すことができます。

洗い場には、シャワーやイス、シャンプーやボディソープがよいされていることが多いです。まず、イスに座り、シャワーで体をしっかり流し、シャンプーやボディソープで体を洗います。そのあと、しっかりとすすいでからゆぶねに入ります。このてじゅんを守ることで、ゆぶねの水がせいけつに保たれ、みんなが気持ちよく入浴することができます。

また、おんせんやせんとうでは、かみの毛やタオルをゆぶねにつけないようにすることもマナーです。かみの毛が長い場合は、ゴムでまとめたり、タオルで包むなどのはいりよがひつようです。タオルはゆぶねの外におくか、頭の上のにのせるなどして、ゆぶねに入れないようにしましょう。

■タバコ&ゴミのポイ捨て マナー違反レベル:★★★★☆

海外では、公共の場でタバコを吸ったり、ゴミをポイ捨てすることがきょようされるちいきもありますが、日本ではこれらの行為はきびしくとりまらられています。日本では、公共の場をせいけつに保つことがじゅうようとしており、ポイ捨ては社会全体のマナー違反と見なされます。

まず、タバコについてです。日本では、決められたきつえんじょでのみタバコを吸うことができます。まちなかやこうえん、えきのしゅうへんなどにはせんようのきつえんスペースがあり、そこを利用することがぎむづけられています。公共の場での歩きタバコやポイ捨ては、ヤケドのきけんや周りの人たちへのめいわくをこうりよして、禁止されています。

次に、ゴミのポイ捨てについてです。日本では、ゴミは分別して捨てることがいっばんてきです。まちなかには多くのゴミ箱がせっちされており、特にかんこうちやえきのしゅうへんではゴミ箱がおかれています。しかし、日本の多くの場所では、自分のゴミは持ちかえるというしきが強く、ゴミ箱が少ない場所もあります。そのため、自分で出したゴミは持ちかえり、自宅や宿泊先で正しくしよりすることがもとめられます。

ゴミの分別もとても大切です。日本では、もえるゴミ、もえないゴミ、しげんゴミ(ペットボトル、かん、びんなど)に分けて捨てることが求められます。ゴミ箱にはそれぞれのしゅるいが決められているので、ルールを守って捨てるようにしましょう。

■バスや電車の中で食事をする マナー違反レベル:★★★★☆

海外では、バスや電車の中で食事をするのがきょうされる場合もありますが、日本ではこれはマナー違反とされています。日本のこうきょうこうつうきかんでは、他のじょうきやくへのはいりよが求められ、車内での食事はしないのがいっばんてきです。

日本の電車やバスは多くの人利用する場所です。そのため、食事をするので発生するニオイや音が、他のじょうきやくにとってふかいなものとなるかのうせいがあります。特に、つうきん・つうがく時間帯のこんざつした車内では、食事をするスペースがないこともあり、他の人にめいわくをかけることとなります。

さらに、食べ物や飲み物がこぼれることによって電車やバスの中を汚してしまうリスクもあります。せいけつさを保つためにも、こうきょうこうつうきかんで飲んだり食べたりすることはしないようにしましょう。

ただし、ちょうきよりれっしややしんかんせんでは例外があります。これらのれっしやでは、座席にトレイがせっちされており、食事をするのがみとめられています。駅弁(えきべん)と呼ばれる特別なお弁当がはんばいされており、しんかんせんの旅を楽しむ一部となっています。しかし、この場合でも、食事の音やニオイにはちゅういをして、周りの人たちはいりよすることが求められます。

また、バスや電車の中で飲み物を飲むこともしないほうがいいです。特にペットボトルやかんをあける音がひびくため、周りの人たちにめいわくをかけるかのうせいがあります。もし、どうしても飲み物がひつような場合は、しずかに飲むよう心がけることが大切です。

このように、日本のこうきょうこうつうきかんでは、他のじょうきやくへのはいりよがじゅうようです。食事をしないことで、みんながかいてきに利用できるかんきょうを保つことができます。文化やしゅうかんのちがいをりかいして、正しいこうどうを心がけることで、日本でのこうきょうこうつうきかんの利用をよりスムーズにすることができます。

■会計前に飲んだり食べたりする マナー違反レベル:★★★★★

海外では、スーパーやコンビニで買い物しているときに、お金を支払う前に、飲み物や食べ物を飲んだり食べたりするのが普通の国もあります。しかし、日本ではこれはマナー違反とされています。お店の中で商品を会計前にあけてしまうと、他のお客さまや店員さんにめいわくをかけることがあります。

日本では、お店の商品はすべてきちんとお金を支払ってから使うのがいっぱんてきなルールです。会計前に商品を使ったり、食べたり、飲んだりすることは、万引きとごかいされるかのうせいもあります。「万引き」とはお金を支払わずに商品をぬすむことです。

たとえば、飲み物をレジに持って行く前に飲み始めることはやめましょう。同じように、スナックやおかしをふくろから出して食べるのもダメです。もし、どうしても飲み物がみつような場合は、店の外で買ってから飲むことをおすすめします。

さらに、日本の多くのお店では、飲んだり食べたりするためのスペースがもうけられています。これを利用して、商品をこうにゆうしてからその場で楽しむこともできます。特にコンビニエンスストアでは、イートインスペースがあり、そこで飲んだり食べたりするのが普通です。

■道でツバを吐く マナー違反レベル:★★★★★

海外では、道ばたでツバを吐くことがきょうされるちいきもありますが、日本ではこれはマナー違反とされています。公共の場でツバを吐く行為は、ふえいせいで他の人たちにふかいかんを与えるものと見なされます。

他のマナー違反と比べて、この「道でツバを吐く」はとても大きなマナー違反なので絶対にしないようにしましょう。

日本では、道や公共の場をせいけつに保つことがじゅうようしされています。そのため、ツバを吐く行為は周りの人たちに対してもふゆかないんしょうを与えるだけでなく、ちいき全体のびかんとそこなうことにもつながります。また、日本の多くの都市やちいきでは、道ばたにゴミを捨てたりツバを吐くことが法律で禁止されている場合もあります。

もし、どうしてもツバを吐くひつようがある場合は、ティッシュやハンカチを使い、そのあと正しくしよりするようにしましょう。また、トイレや洗面所などのせんようの場所でしよりの方がいいです。これにより、公共の場をせいけつに保ち、他の人たちに対するはいりよを示すことができます。

日本では、えいせいめんへのいしきが高く、公共の場でのこうどうにもきびしいマナーが求められます。特に、かんこうちや都市部では、外国人旅行者も同じようにこれらのルールを守ることが求められています。地元の文化やしゅうかんとそんちようし、正しいこうどうをとることは、日本でのたいざいをよりかいてきにするためにもじゅうようです。

■くつをはいたまま室内に入る マナー違反レベル:★★★★★

海外では、くつをはいたまま室内に入ることが普通なちいきもありますが、日本ではこれはマナー違反とされています。日本では、げんかんでくつをぬいでから室内に入るのがいっぱんてきです。

日本の家庭では、げんかんが「どそくげんきん」のきょうかいせんとなっています。げんかんでくつをぬぎ、スリッパなどにはきかえてから室内に入ること、外の汚れを家の中に持ち込まないようにしています。これにより、家の中をせいけつに保つことができます。また、たたみの部屋では特に土足をさけることがじゅうようです。たたみはせんさいなそざいであり、土足で歩くときずつけたり汚れたりすることがあります。

同じように、ほうもんさきでも同じマナーがひつようです。友人や知人の家をおとずれるときも、げんかんでくつをぬぎ、スリッパがよういされている場合はそれを利用します。スリッパがない場合は、くつしたやストッキングのままで室内に入るのがいっぱんてきです。

オフィスやクリニック、りよかんなどのこうきょうせつでも、くつをぬいでスリッパにはきかえる場所があります。たとえば、りよかんの部屋に入るときは、げんかんでスリッパにはきかえて、さらに和室に入るときはスリッパをぬぐことが求められます。このような場所でも、くつをぬぐマナーを守ることが大切です。

くつをぬぐ文化は、日本のせいけつさや家を大切に使うしゅうかんからきています。日本での生活や訪問先でのマナーをそんちょうし、くつをぬぐしゅうかんをりかいしておきましょう。

■列のわり込み マナー違反レベル:★★★★★

海外では、列に並ぶときに多少のわり込みが許される場合もありますが、日本ではこれは非常にマナー違反とされています。日本では、列に並ぶときのルールがきびしく、じゅんばんを守ることが強く求められています。

日本人々は、こうきょうの場やイベント会場、レストラン、電車にのるときやおりるときなど、あらゆる場面で列に並ぶしゅうかんがあります。列に並ぶことで、じゅんばんを守り、スムーズにものごとがすすむことを大切に思っています。そのため、列にわり込む行為は他の人たちに対するはいりよを欠くものと見なされ、非常にふかいな思いをさせることがあります。

たとえば、駅のホームで電車を待っているとき、じゅんばんを守って列に並ぶのがいっぱんてきです。電車がとうちやくしたとき、先に並んでいた人からじゅんばんにじょうしゃします。わり込む行為は、他のじょうきやくに対してふれいであり、トラブルの原因となることがあります。また、スーパーマーケットのレジやイベントの入場待ちでも、列に並んでじゅんばんを守ることが大切です。

もし、友人や家族が先に列に並んでいる場合でも、わり込まずに列の最後に並ぶのが正しいマナーです。どうしてもいっしょに並びたい場合は、すでに並んでいる友人や家族といっしょに列の最後に並びなおすようにしましょう。このような小さなはいりよが、日本でのスムーズな生活につながります。

また、列に並ぶときには、前の人とのてきせつなきよりを保つことも大切です。特にこんざつしているときは、他の人にふかいかんを与えないようにちゅういしましょう。

日本での列に並ぶマナーを守ることは、周りの人たちに対するけいいを示すことにつながることを覚えておきましょう。

■手で食べる マナー違反レベル:★★★★★

海外では、手で食べることが普通に行われる国や文化もありますが、日本ではこれはマナー違反と見なされることがあります。日本では、きほんてきに食事ははしやフォーク、スプーンなどの食器を使って食べるのがいっぱんてきです。

日本の食文化では、手で食べることはとくていの食べ物をのぞいてあまり見られません。たとえば、寿司やおにぎり、とくていのわがしなどは手で食べることがきょうようされていますが、それ以外の多くのりょうりでははしや他の食器を使うことが求められます。特に、こうきょうの場やレストランで手で食べる行為はマナー違反とされることが多いです。

日本での食事のマナーを守るためには、次の点にちゅういしましょう。まず、食事のときには必ずはしやフォーク、スプーンを使うようにしましょう。食事を始める前に、食器の使い方やはしの持ち方をかくにんしておくといいましょう。また、はしを使うときには、はしを正しく持ち、食べ物を口にはこぶようにします。はしを使うのがむずかしい場合は、フォークやスプーンを使ってもかまいませんが、手でちよくせつ食べることはやめましょう。

■飲食店で出されるおしぼりで顔や体をふく マナー違反レベル:★★★★★

日本の飲食店では、多くの場合、おしぼりというしめったタオルが無料でいきょうされます。このおしぼりは、手や指をふくためによういされたもので、顔や体をふくためのものではありません。海外では、おしぼりを使って顔や体をふくことがきょようされる場合もありますが、日本ではこれがマナー違反とされています。

おしぼりは、食事の前に手をせいけつにするためのものです。お店に入って席につくと、水とおしぼりがいきょうされることが多く、このおしぼりで手をふいてから食事を始めます。おしぼりで顔をふくことは、特にビジネスシーンやフォーマルな場ではマナー違反とされることがあります。おしぼりは、手をふく以外の目的で使うことはやめましょう。

また、おしぼりを体や首にかけることもマナー違反とされています。あつきせつやうんどうのあとなどで汗をかいている場合でも、おしぼりを体をふくために使うのはやめましょう。ひつようであれば、トイレや洗面所でタオルを使用するようにしましょう。

おしぼりの正しい使い方を知っておくことで、日本の食事マナーを守り、周りの人たちに良い印象を与えることができます。特に、ビジネスの場や正式なディナーでは、このようなこまやかなマナーが大切に考えられています。

おしぼりを使ったあとは、きれいにたたんで元の場所に戻すか、ていきょうされたようきに戻します。このようにすることで、テーブルをせいけつに保ち、次に使用する人へのはいりよを示すことができます。

日本の飲食文化では、こまやかなマナーが大切に考えられています。おしぼりの正しい使い方をりかいして、正しいこうどうをとることで、楽しい食事の時間をすごすことができるでしょう。

"海外では普通なのに日本ではダメなこと"はいかがでしたか。
コメント欄から感想をみんなに教えてください。

たとえば、私たち日本人はみそ汁を飲むとき食器にちよくせつ口をつけて飲みますが、海外の国によっては食器にちよくせつ口をつけることがマナー違反になる国もあります。その国やちいきの文化やマナーを知り、マナー違反にならないようにすることは敬意を示すことを意味しています。

正しいマナーを守ることで、周りの人にふかいな思いをさせず、良い関係をきづくことができます。文化のちがいをりかいして、正しいこうどうを心がけることは、あなたの日本滞在をもっと楽しくしてくれることでしょう。

それでは、また別の動画でお会いしましょう。



Japanese-listening-SUSHI

